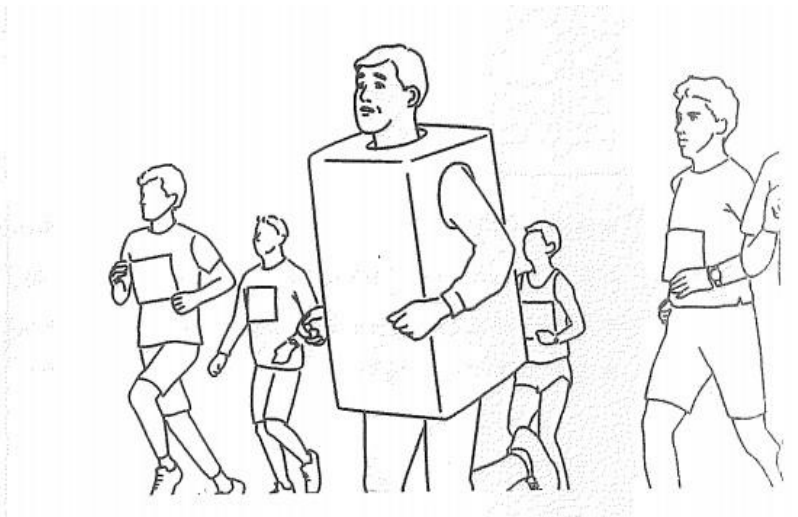


17. ミスター豆腐^{とうふ}

豆腐^{とうふ}は以前^{いぜん}、アメリカ人^{じん}が最も^{もっと}嫌^{きら}いな食べ物^{たもの}だった。しかし、あの日本人^{にほんじん}が頑張^{がんば}ったおかげで、今^{いま}では健康食品^{けんこうしょくひん}として人気^{にんき}がある。ミスター豆腐^{とうふ}と呼ばれたその人^{ひと}は、どのようにして成功^{せいこう}したのだろうか。

アメリカに「ミスター豆腐^{とうふ}」と呼ばれる日本人^{にほんじん}がいる。彼^{かれ}の名前^{なまえ}は、くもだやすお 雲田康夫。アメリカに豆腐^{とうふ}をひろめた人^{ひと}だ。彼^{かれ}がアメリカで成功^{せいこう}するまで



の道^{みち}は、とても厳^{きび}しいものだった。あと少し^{すこ}で成功^{せいこう}しそうな時^{とき}に、運^{うん}が悪^{わる}くて失敗^{しっぱい}に終わ^おったこともあった。普通^{ふつう}の人^{ひと}だったら、途中^{とちゆう}であきら^{あきら}め^めていただろう。

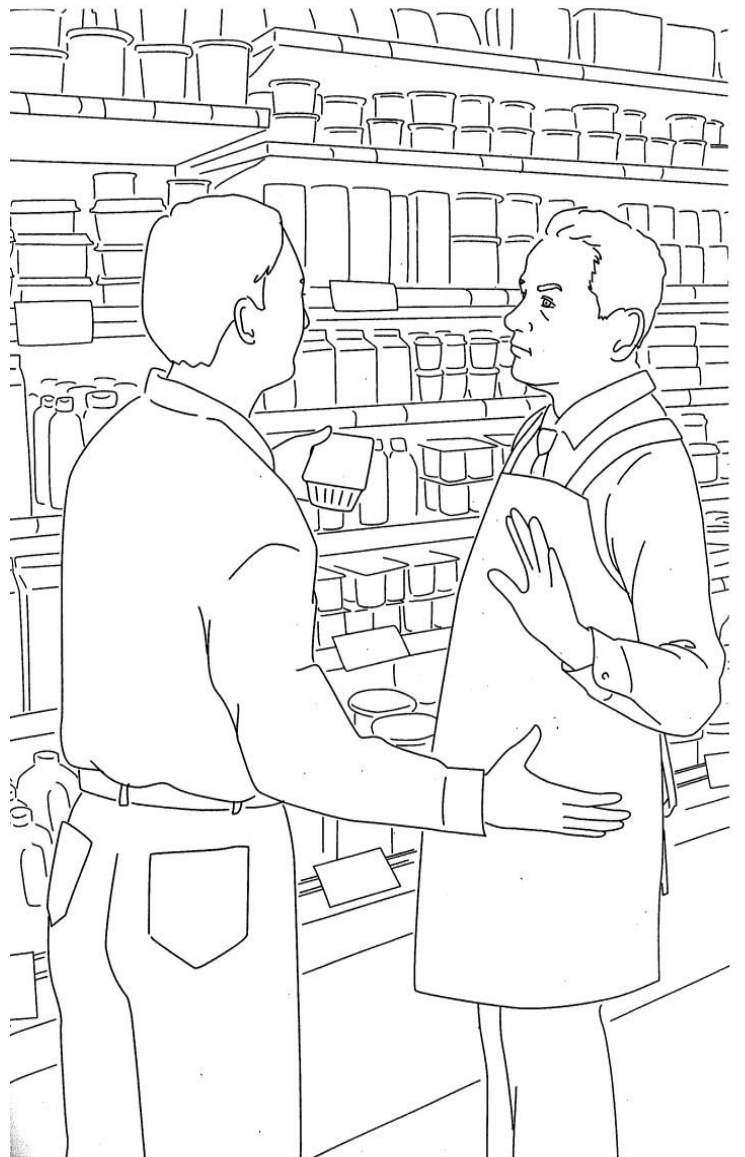
くもだ もりなが 雲田^{くもだ}は、森永^{もりなが}という食品会社^{しょくひんがいは}で働^{はたら}いていた。1985年^{ねん}、40歳^{さい}の雲田^{くもだ}は森永^{もりなが}の豆腐^{とうふ}を売^うるために、アメリカに行^いくことになった。雲田^{くもだ}の会社^{かいしゃ}は、アメリカで働^{はたら}ている日本人^{にほんじん}や、健康^{けんこう}に気^きを付^つけるアメリカ人^{じん}は、豆腐^{とうふ}を食^たべるだろうと考^{かんが}えていた。しかし、当時^{とうじ}、豆腐^{とうふ}

が好きなアメリカ人は少なかった。豆腐の食感や味が嫌いな人がいたし、「Tofu」の発音から英語の"Toe"(爪先)をイメージする人もいた。また、豆腐の原料の大豆はペットの餌だと考える人も多かった。1988年の新聞の調査で、豆腐はアメリカ人の一番嫌いな食べ物だった。

雲田はアメリカに渡ってから何年も頑張った。

ある時、雲田はロッキー青木を訪ねた。ロッキー青木は、ベニハナという有名なレストランのオーナーで、雲田は森永の豆腐にベニハナのブランドを使いたかったのだ。しかし、ロッキー青木はそれを許さなかった。その代わりに、ロッキー青木は雲田に「豆腐を売るためには自分が広告塔になりなさい」とアドバイスをくれた。

そこで雲田は、自分の車のナンバープレートに「TOFU NO 1 (豆腐が一番)」にしようと考える



た。しかし、雲田^{くもだ}のコンサルタントは、アメリカ人^{じん}はそれを「TOFU NO! (豆腐^{とうふ}ダメ!) 」と読んでしまうと^よ言った。そこで、彼は^{かれ}「TOFU-A (よい豆腐^{とうふ}) 」というナンバープレート^{つか}を使った。しかし、そのナンバープレート^みを見て、親指^{おやゆび}を下^{した}に向けるサイン^むを送^{おく}る運転手^{うんてんしゅ}もいた。

次に、雲田^{くもだ}は豆腐^{とうふ}の形^{かたち}をした四角^{しかく}い衣装^{いしょう}を着^きてロサンゼルスマラソン^でに出^でた。途中^{とちゅう}でつまずいて転^{ころ}んでしまったが、テレビカメラに^{ちゅうもく}注^{しゅう}目^{もく}されたので、一生懸命^{いっしょうけんめい}豆腐^{とうふ}の良^よさを説明^{せつめい}した。

雲田^{くもだ}はいろいろ試^{ため}してみたが、アメリカでは豆腐^{とうふ}がなかなか売^うれなかった。

諦^{あきら}めそうになっていたある日^ひ、雲田^{くもだ}は、食料品店^{しょくりょうひんてん}で一人^{ひとり}の女性^{じょせい}が豆腐^{とうふ}を買^かうのを見た。彼は^{かれ}その女性^{じょせい}に話^{はな}し掛^かけた。すると、彼女は^{かのじょ}豆腐^{とうふ}を果物^{くだもの}と一緒^{いっしょ}にして、健康^{けんこう}シェイク^{つく}を作^{つく}っていることを教^{おし}えてくれた。雲田^{くもだ}はすぐ会社^{かいしゃ}に戻^{もど}ってこの食^たべ方^{かた}を試^{ため}してみたが、とてもおいしかった。彼は^{かれ}この食^たべ方^{かた}に合^あう新^{あた}しい豆腐^{とうふ}を作^{つく}ることにした。

また、彼は^{かれ}車^{くるま}に乗^のっているときに、こんなことをラジオ^きで聞^きいた。当時^{とうじ}の大統領夫人^{だいてうりょうふじん}のヒラリー・クリントン^{だいてうりょう}が大統領^{けんこう}の健康^{けんこう}のために豆腐^{とうふ}を勧^{すす}めているというのだ。すぐに彼は^{かれ}、森永^{もりなが}の豆腐^{とうふ}と、豆腐^{とうふ}のレ

シピをホワイトハウスに^{おく}送った。ホワイトハウスからは、^{ていねい}^{れい}丁寧にお礼
の^{へんじ}^き返事が来た。

このことで、^{くもだ}^{きも}雲田の気持ちがもう一度^{いちども}^あ燃え上がった。彼は^{かれ}^{しんせいひん}新製品の
^{こうじょう}^{つく}工場を作ろうと^{かんが}考えた。しかしその^{ころ}頃、彼の^{かれ}^{かいしゃ}会社は、彼が^{かれ}
^{せいこう}成功しないことに^{がまん}我慢できなくなっていた。

「^{しんせいひん}^{こうじょう}^{つく}新製品の工場を作るのはいい。ただし、^{じぶん}^{かね}自分の金でやれ!」と会社
は^{くもだ}^い雲田に言った。これはとても^{おお}^か大きい賭けで、^{ふつう}^{ひと}普通の人だったら^{あきら}諦
める。しかし、^{くもだ}^{あきら}雲田は諦めなかった。彼は^{かれ}^{しゃっきん}借金をして、オレゴン
^{しゅう}^{あたら}州に^{とうふこうじょう}^た新しい豆腐工場を建てた。

それから^{ねん}10年。雲田の^{くもだ}^{どりよく}努力がやっと^{せいこう}成功につながって、^{もりなが}森永の
^{とうふ}豆腐はアメリカで^{にんき}^{しょうひん}人気の商品になった。ミター^{とうふ}豆腐は、^{さいご}^{あきら}最後まで諦
めなかったのだ。

日本には「^{にほん}^{ももくりさんねん}^{かきはちねん}桃栗三年、柿八年」ということわざがある。桃や栗の木
は^{そだ}^み育て実がなるのに^{ねん}3年かかり、柿は^{かき}^{ねん}8年かかる。^{せいこう}成功までにはと
ても^{なが}^{じかん}^{がまん}長い時間我慢する^{ひつよう}必要がある、という意味だ。ミスター^{とうふ}豆腐はそ
れに^つ^{くわ}こう付け加える。「そして^{とうふ}^{ねん}豆腐は10年!」

単語リスト

健康食品（けんこうしょくひん）	Thực phẩm tốt cho sức khỏe	健康（けんこう）シェイク	Món sinh tố lắc tốt cho sức khỏe
当時（とうじ）	Lúc ấy	勧める（すすめる）	Khuyến khích
食感（しょっかん）	Cảm giác khi ăn	燃え上がる（もえあがる）	Bùng cháy
爪先（つまさき）	Đầu ngón chân	賭け（かけ）	Đánh cược
大豆（だいず）	Đậu nành	つながる	Dẫn đến
広告塔（こうこくとう）	Tháp quảng cáo	ことわざ	Tục ngữ
コンサルタント	Tư vấn	実がなる（みがなる）	Kết trái
衣装（いしょう）	Trang phục	付け加える（つけくわえる）	Nói thêm